

Kobe-Seattle Sister City Association

KSSCA

神戸ーシアトル姉妹都市協会

The NEWS Letter vol.3

2005年11月

~~~~~ contents ~~~~~

- シアトルの歌姫が『神戸新開地ジャズ伝説』に参加
- 祝ご結婚！ シアトルー神戸姉妹都市協会 カーリン・ザーグ会長
- シアトルー神戸姉妹都市協会スタッフ エリン・エリクソンさんからの友好メッセージ
- シルバーカレッジの学生がシアトルを訪問
- 震災10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part1)報告
- 震災10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part2)開催
- 交流会のご案内
- ホストファミリー登録受付
- Special Thanks



## KOBE JAZZ VOCAL QUEEN CONTEST SPECIAL EVENT

震災10年 神戸からの発信事業  
～新開地生誕100年記念事業～

### シアトルの歌姫が『神戸新開地ジャズ伝説』に参加

10月1日（土）に神戸市兵庫区の湊川公園特設会場で開催された『神戸新開地ジャズ伝説』に参加するため、シアトルから2名の歌姫、イザベラ・ドゥグラフさん（写真下：右）とケリー・ジョンソンさん（写真下：左）が来神されました。

このお2人は、今年4月にシアトルの老舗ライブハウス『ジャズアレイ』で行われた「第1回シアトル・神戸女性ジャズボーカリストコンテスト（Seattle-Kobe Female Jazz Competition）」（シアトルー神戸姉妹都市協会主催）のグランプリ受賞者（イザベラさんは高校生の部グランプリ、ケリーさんは一般の部グランプリ）で、新開地生誕100年記念事業、神戸・シアトル姉妹都市文化交流事業の一環として開催された、神戸ジャズボーカルクイーン・スペシャルイベント『神戸新開地ジャズ伝説』にシアトルから招かれました。



このイベントには、お2人のほか、2000年から毎年5月に神戸アートビレッジセンターで開催されている『神戸ジャズボーカルクイーンコンテスト』でこれまでにグランプリを受賞した歴代のクイーン6名が集まり、それぞれ個性豊かなライブを繰り広げました。そのなかでも、お2人は見事な歌声とパフォーマンスを披露し、集まった大勢の観客を魅了しました。さらに、特別ゲストの小曾根真さんとの素晴らしいセッションで客席は最高潮に達しました。



また前日には、神戸市中央区・北野坂のライブハウス『ソネ』で、飛び入りのパフォーマンスを披露するサプライズもあり、お2人の堂々としたステージに観客は思わず聞き入っていました。



『ソネ』にて、飛び入りでステージに立ったイザベラさん（写真左）とケリーさん（写真右）



シアトル・神戸女性ジャズボーカリストコンテストは来年以降も定期開催され、神戸ジャズボーカルクイーンコンテストとの相互交流事業となる予定です。来年以降もシアトルの歌姫たちの素晴らしい歌声を生で聞けることになりそうですね。

『ソネ』にてイザベラさん一家とケリーさん一家

## <プロフィール>

### ♪イザベラ・ドゥグラフさん♪

幼少の頃から音楽に親しみ、3才で少女合唱団に所属。1999年（10才）からは、エリック・ヴァーランドにジャズピアノおよびジャズの歴史などを学ぶ一方、シアトルを代表するジャズ・ヴォーカリストであるグレタ・マタッサ、ディー・ダニエルズにも師事。カリフォルニア州レノで開催されたレノ国際ジャズフェスティバル2002、アイダホ州ライオネル・ハンプトン・ジャズフェスティバル2005など数々の音楽イベントに参加し優秀な成績をおさめる。地元シアトル・タイムズ紙で“心を揺さぶる素直な歌声”と評されるなど各方面から高い評価を受けている。

### ♪ケリー・ジョンソンさん♪

ミルウォーキー州ウィスコンシン・コンサーバトリー・オブ・ミュージックのヴォーカル・ジャズ・パフォーマンス科を優秀な成績で卒業。シアトルを拠点にアメリカ国内および、カナダ、東欧、中国などのライブハウスやフェスティバル、コンサート会場で演奏活動を展開すると同時に、教育者としてシアトル・コーニッシュ芸術大学でスタンダードジャズ、歌唱法、即興などのクラスを担当し後進の指導にもあたっている。1998年から国際ジャズ教育者協会会員。1998年リリースのデビューCD“Make Someone Happy”に続き、2002年の“Music is the Magic”、2003年の“Live at Birdland”も好評発売中。

## 祝ご結婚！ シアトルー神戸姉妹都市協会 カーリン・ザーク会長

7月23日（土）にシアトル郊外のフォール・シティ Heritage Garden Farm で、シアトルー神戸姉妹都市協会会長のカーリン・ザークさんとダン・ブラックさんが結婚式を挙げられました。

“Rainy City”の異名を持つシアトルもこの日は素晴らしい天候に恵まれ、2人を祝福するために、200名を超える招待客がアメリカ国内だけでなく海外からも集まりました。結婚式では、親日（神戸？）家のカーリンさんのアイデアで、日本の『花束贈呈』ならぬ“giving flowers”というメニューも用意され、2人が大切な家族や友人たちに、カーリンさんの大好きな神戸の花“あじさい”を渡すシーンも見られました。



（招待客から祝福を受けるカーリンさんとダンさん）



（あじさいを受け取った村瀬家の皆さん）

神戸関係者としては、日本から当協会メンバー2名のほか、カーリンさんが『神戸の家族』と呼ぶ村瀬家のひとみさん、きのめさん姉妹と、きのめさんの長女さくらちゃんの3名が出席しました。また地元シアトルからは、神戸市シアトル事務所の山本所長ご一家も参加されました。このほか、当日出席できなかった神戸の友人たちから贈られたお祝いメッセージの色紙も会場に飾られ、招待客に紹介されました。

当日は、当協会メンバーとシアトルー神戸姉妹都市協会スタッフの皆さんとの交流の機会もあり、協会の活動状況や2007年の姉妹都市提携50周年に向けた記念事業などについて意見交換することができました。今後、カーリン会長をはじめ、シアトル協会の皆さんと連携しながら、50周年記念事業の共同企画などを進めていく予定です。



（会場に飾られた神戸からのお祝いメッセージの色紙）



（シアトル協会メンバーと交流を深める神戸協会メンバー）



普段はシアトル・神戸姉妹都市協会会長として、またシアトル市職員として、超多忙な生活を送っているカーリンさんですが、この日ばかりはすっかり仕事のことは忘れ、思いきり幸せをかみしめているようでした。

**Best wishes for a happy life together!!**  
(末長くお幸せに!!)

## シアトルー神戸姉妹都市協会スタッフ エリン・エリクソンさんからの友好メッセージ

シアトルー神戸姉妹都市協会スタッフのエリン・エリクソンさんから友好メッセージを英語と日本語でいただきました。原文のままご紹介させていただきます。

(英語)

### **Expanding Friendships**

September 2005

Dear Friends of the Kobe-Seattle Sister City Association,

Hajimemashite. Although I have lived in Japan for many years and traveled to many parts of the country, I had never spent time in Kobe. Fortunately, that all changed this last September. I was honored to visit this beautiful sister city for the first time, a trip that has been long overdue!

I have often heard that Seattle and Kobe look and feel very similar. Now I can finally agree with those who have visited and lived in this beautiful city. From the 24<sup>th</sup> floor of Kobe City Hall I saw a breath-taking panoramic view of Kobe spread out along the seashore.

Although the downtown sprawl seems much longer than Seattle, being a port city there really are a lot of similarities. I was surprised that the mountains were so close that I could walk to them from downtown. I was also amazed at the underground shopping mall that was a labyrinth of shops and restaurants, as a visitor I could easily get lost in the maze. Kobe certainly has a lot to offer the visiting tourists, and plenty to keep residents entertained.

During my time at the Kobe City Hall I was able to meet with Ueda-san and Yamamura-san of the International Division. They shared with me the history of the new Kobe airport, and the dream of making it into an international airport. It seems as though it may be a challenge, but an exciting opportunity if a direct flight from Kobe to Seattle was established that would further strengthen our sister-city ties.

I also learned that the bi-pass that runs across Kobe's waterfront was built after the Hanshin earthquake and modeled after Seattle's Alaskan Viaduct. I had no idea how intertwined our two cities have become over the years.

In particular, I was impressed with the public transportation system in Kobe. Not only was there a JR line for trains, but also a Hankyu line, and yet another Hanshin line for subway/trains. If only Seattle would adopt an expansive and effective system similar to Kobe. We have a lot to learn from our sister city as well.

One of the highlights of my time in Kobe was finally meeting Eri Yagi, Founder and President of the Kobe-Seattle Sister City Association. This last spring while Eri was traveling through Seattle, we were both at many of the same events, but never had the opportunity to meet. I was excited to finally meet the famous lady everyone raves about in Seattle. I can tell Eri-san has a lot of enthusiasm and ideas for the Kobe-Seattle sister city relationship and I look forward to working together with you to make these dreams a reality.

Now that I have seen the city that is closest to my own hometown, I hope to continue to strengthen Seattle-Kobe sister city relationships, and most importantly long lasting friendships between members of our communities.

Thank you Eri and the Kobe-Seattle Sister City Association for all your hard work, and for the fun we will have in the future!

Your new friend,

Erin Erickson  
Community Liaison, Board Member, Seattle-Kobe Sister  
City Association  
Project Coordinator, Hyogo Business & Cultural Center

(日本語)

## 親交(友好の)発展に向けて

2005年9月

神戸\_シアトル姉妹都市協会の皆様、



初めまして。私は日本に長年住み、日本の様々な地域を旅行しましたが、神戸で過ごしたことはありませんでした。しかし、幸いにも昨年9月にずっと待ち望んでいたこの素敵な姉妹都市『神戸』を初めて訪れることができました。

シアトルと神戸は、見た目も雰囲気もとても似ているとたびたび耳にすることがありました。今ではやっと、この素敵な神戸を訪れたり住んでいた人たちの気持ちがわかるようになりました。神戸市役所の24階からは、思わずはっとするような海辺沿いへ広がる神戸の全景を見ました。

繁峯街の店が建ち並ぶ距離はシアトルより長いですが、港湾都市としては似ているところがたくさんあります。市街地から山がとても近く、歩いて行けることには驚きました。また、地下街が店舗やレストランの迷路のようだったので、観光客の私は困ってすぐに迷子になってしまいました。神戸には観光客に供給するものがたくさんあり、在住者にも十分にもてなすものがあります。

神戸市役所に訪れたとき、国際交流課の上田さん、山村さんにお会いすることができました。彼らは新しい神戸空港の歴史や、それを今後国際空港にする夢について話してくれました。それはチャレンジかもしれませんが、もし神戸からシアトルへ直行便が運航されたら私たちの姉妹都市の絆をもっと深めることができる素晴らしい機会になると思います。

また、神戸のウォーターフロントを渡したバイパスは阪神大震災の後に建てられ、それはシアトルのアラスカ高架橋をモデルにしたと知りました。私は2つの都市がここ数年でこんなにもつながりを持っているとは全く知りませんでした。

神戸の公共交通システムには特に驚きました。JR線だけではなく、阪急線、地下鉄に阪神線もありました。せめてシアトルが神戸のような拡張的で有効なシステムを採用してくればよいのですが。私たちはこの姉妹都市からたくさん学ぶことができます。

神戸滞在中でのハイライトの1つは、神戸ーシアトル姉妹都市協会会長で創設メンバーの八木さんにやっとお目にかかれたことです。今春八木さんがシアトルを訪問されていたときには、同じイベントに何回も出ていたものの一度もお会いすることができませんでした。シアトルで有名な女性にやっ与会えることが楽しみでした。私は、八木さんが神戸姉妹都市関係へのたくさんの熱意とアイデアを持っておられると感じました。私はこれらの夢を現実にできるように共に働けることを待ち遠しく思っています。

自分の故郷にもっとも近い都市を見た今、私はシアトルー神戸姉妹都市関係を深めることを続け、更には私たちメンバー同士の長期にわたる友好を続けたいと思います。

八木さん、そして、神戸ーシアトル姉妹都市協会の皆様の全ての活動、そして私たちの楽しい未来に感謝します。

エリン・エリクソン

Community Liaison, シアトルー神戸姉妹都市協会ボードメンバー  
兵庫県ワシントン事務所文化担当



## シルバーカレッジの学生がシアトルを訪問

当協会がサポートさせていただいた、シアトル市訪問スタディーツアーが開催されました。ツアーに参加されました神戸市シルバーカレッジ 国際交流協力コースの生徒さんはシアトル市を訪問して様々なご経験をされたようで、参加メンバーを代表して南原民子さんから感想をいただきましたのでご紹介させていただきます。

-----  
シアトル旅行の感想

H17年10月

とても楽しい有意義な旅行でした。単なる観光旅行でなく、市民レベルで神戸とシアトルの姉妹都市関係を深めるといふ目的に賛同し、シルバーカレッジのグループ学習、シアトル組に参加させて頂きました。それぞれ各分野でご活躍のすばらしい方々に出会えて、いい経験をさせて頂きまして、とても嬉しく思っています。まず神戸市長さんの親書を持ってシアトル市役所を訪問したり、シアトル姉妹都市委員会との会合にも参加させて頂き、皆様のお力添えのおかげで、素晴らしい旅行になった事を心より感謝しています。

神戸ーシアトル姉妹都市協会の八木代表がシルバーカレッジにお越し下さってグループ学習のメンバーと親しく懇談され、その後お礼のメールや帰ってからの報告のメールなどやりとりさせて頂き温かいお人柄にふれました。皆様のご尽力のおかげで、7月14日のモンゴメリー家のガーデンパーティーに案内された時には何か洋画で観たワンシーンに参加しているようで、夢のようでした。その時の記事が「北米報知」新聞（シアトルの日本語紙）に載り、ホテルを出発する前に金光教シアトル教会長がその新聞を届けてくださった事は忘れられない思い出です。

シアトルの日系老人施設を訪問して女性3人は浴衣、男性はお揃いのはっぴ姿であちらのお元気なシニアの方々とご一緒に盆踊りを踊ったことや、「ユー.アー.マイサン.シャイン」をご一緒に合唱した事など楽しい事が一杯でした。シアトルの保育園でマジックに見入る各国の子供達のかわいい様子もとても印象に残っています。もっともっと一緒に遊んでいたいと思いました。

クリスチャンピルグリム教会の日曜礼拝にも参加させて頂き、昼食親睦会を催して下さいました、同じテーブルのソプラノソリストのような方とご一緒に「ハレルヤ」を思わず口ずさんだことはとてもうれしい経験でした。音楽によって心が通じ合ったような気がして、日本にお越し下されば、ホームステイしていただいてもてなしたいと思いました。後半のレーニア山のハイキングやブッチャートガーデンへの観光旅行は又素晴らしい楽しい思い出です。通り道で写真を撮っていても、じっと待っていて下さったり、シアトル市民のゆったりとした生活態度、礼儀正しさなど見習うべきだと感じました。シアトルはお花一杯のきれいな街、ごみのない清潔な街、親切な方が多くて上品な街、神戸と似て坂の多い街、それも親しみが沸き、又訪れたい大好きな街になりました。

思いがけずこの度シアトルからジャズの歌姫ファミリー2組が神戸へお越しになり、ハードなスケジュールでもてなし方で失礼だった点があったかも知れませんが、素晴らしいミュージシャンと懇談できる機会が頂けてとても嬉しく思いました。10月1日の新開地、湊川公園での素晴らしいジャズコンサートを聴かせて頂いて、感動し、ファンの1人になりました。今後とも交流を続けたいと又お目にかかる機会を楽しみにしています。あと半年後に卒業を控え、この旅行をきっかけにシアトルからのお客様をお迎えして「神戸市内観光案内のお手伝いグループ」が結成されつつあり、私に出来る範囲で参加、協力したいと思っている次第です。

神戸市シルバーカレッジ国際交流協会コース10期生シアトルグループメンバー  
神戸ーシアトル姉妹都市協会会員 南原民子

1 神戸市役所訪問 矢田市長さんと写真 H17年7月7日



2 神戸ーシアトル姉妹都市協会代表 八木絵里さんと  
H17年6月13日 シルバーカレッジにて



3 日系コンサースにて 盆踊りのあと  
H17年7月13日 午後



4 キッズで マジック  
H17年7月13日 午後



5 野球観戦  
H17年7月17日 19時より



6 教会にて  
H17年7月17日(日)  
ドゥルーリー牧師様ご一家と



7 H17年7月14日 シアトル市役所訪問



## 震災 10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part1) 報告

「震災 10年 神戸からの発信～震災で学んだ「絆」、子どもたちにどう伝えていくのか～」をテーマにしたフォーラムが、去る 2005 年 7 月 23 日（土）神戸ファッション美術館オルビスホールで開催されました。会場には小さな子どもを連れた子育て中の親、教育関係者などでほぼ満員でした。著書「子どもが育つ魔法の言葉」が世界中でベストセラーになったドロシー・ロー・ノルト博士による記念講演、子育てに関するパネルディスカッションが繰り広げられました。

ドロシーさんの講演は、一人ひとりの参加者に語りかけるようにゆっくりと、わかりやすく、人の心に深く染み入っていくものでした。「子どもを育てることは、子どもとともに生きていくこと、そして、子育てとは世界にメッセンジャーを送り出すことだから、自信を持って、誠実に正直に」と、お母さんが多い参加者を励ますようにお話されました。聴衆からは、涙が溢れて止まらなかったという感想も多く聞かれました。

ドロシーさんは、講演のあと、子どもたちとの交流の場を持ち、大変温かいまなざしで一人ひとりのこどもを見つめ、笑顔で手をたたきながら、歌やダンスを一緒に楽しみました。

初めての神戸を大変気に入られ、滞在日程を 1 日延ばすなど、急神戸のまちを楽しみました。常に周りに目を配り、ウィンクして労ってくださったりと、その一つひとつが人の心に温かく深く浸透していくものでした。ドロシーさんから学んだ多くのことを、我われは実践していけるよう頑張りたいと思います。



大変残念なお知らせですが、去る 11 月 6 日、ドロシー・ロー・ノルト博士は癌のため、ご自宅でご家族に見守られる中、永遠の眠りにつかれました。もう一度来年 4 月に神戸に来ると言われていただけに残念です。また、神戸への訪問とフォーラムが人を育てる大切な場であり、ドロシーさんにとって、最も心に残る意義のあるものだったとお聞きしましたこと、大変有難く思い、このドロシーさんの意志を我われも受け継いでいけるよう日々心に刻んで生きていこうと思います。 ご冥福をお祈りいたします。

## 震災 10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part2) 開催

去る 7 月 23 日、ドロシー博士を招いてのフォーラムでは、多くの方々にご参加、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、来る 11 月 27 日（日）、流通科学大学におきまして、今回は「人と人との絆、広め深めるためのコミュニケーション」というテーマで、フォーラムのパート 2 を開催いたします。アメリカのカリフォルニアからは、CCPPNS（California Council of Parent Participatory Nursery School＝カリフォルニア保護者参加型保育園協議会）の代表委員を中心に、神戸の姉妹都市シアトルからも、幼稚園、保育園関係者、家族を中心に 25 名が参加します。

日米の子育て、教育関係者の交流を深め、今後も子どもたちが、より豊かな環境の中で健やかに育っていくようにどうすべきかを考える機会となればと思います。

できるだけ、多くの方々のご参加とご協力をお待ちしております。16 時から交流会があります。よろしく申し上げます。

- ① 日時 平成 11 年 11 月 27 日（日） 10：00～15：30  
交流会 16：00～
- ② 場所 流通科学大学 大学会館
- ③ 定員 500 名
- ④ 参加費 午前 1,000 円/午後 1,500 円/全日 2,000 円
- ⑤ 申込み Fax または E-mail にてお申込みください。
- ⑥ 実施内容 チラシをご参照ください。

神戸・シアトル姉妹都市協会は本フォーラムへ参画しています。

詳しい内容についてのお問い合わせは

日米子育て交流フォーラム実行委員会事務局 多田  
078-797-6361 まで。

- ・ 当日に会場でお手伝いしていただくボランティアを募集しております。

KIDS PROGRAM、受付、会場係など、皆様のご協力をお願いします。ご協力いただける方は、八木（078-785-8205）までご連絡いただけますようお願いいたします。

### 交流会のご案内

平成 17 年 12 月か平成 18 年 1 月に開催を予定しています。

日程や場所が決まり次第、ホームページ「<http://kssca.net/>」にてお知らせいたします。

## ホストファミリー登録受付

シアトル他、海外からのゲストを受け入れてくださるホストファミリーの登録を受け付けています。ホストファミリーとして、ゲストの受け入れに興味・関心がある方、また、内容や時期などによっては受け入れが可能な方も是非登録してください。

登録していただいた方の中から、個々の条件に合いそうなゲストが来られたときに、直接ご連絡させていただきます。

登録を希望される方は、①「ホストファミリー登録」、②氏名・年齢（代表者だけで結構です）、③住所、④家族構成（性別、年齢もお書き添えてください）、⑤最寄駅、⑥その他希望事項（受け入れ条件などの希望がありましたら必ず書いてください）をお書きいただき、FAXにて八木宛（(078)785-8205）にお送りください。皆様の登録をお待ちしています。

### **A Big THANK YOU To Our Corporate Sponsors!**

（順不同）

**オルカ・インターナショナル(株)**

<http://www.orca-international.com/jp/>

**神戸国際協力交流センター（KICC）**

<http://www.kicc.jp/>

**日本食文化環境研究所（Food Approach）**

<http://foodapproach.com/index.htm>

**COSTCO（コストコ ホールセール ジャパン 株式会社）**

<http://www.costco.co.jp/>

**株式会社 神戸ポートピアホテル**

<http://www.portopia.co.jp/>



シアトル市民と神戸市民の出会い、懇親の場を提供させていただくことで両市の交流に貢献できることはポートピアホテルにとってこの上ない喜びです。

神戸ポートピアホテル代表取締役社長 中内 仁



## ポートピアホテル

ご予約・お問合せは・・・Tel.078-302-1111（代表）

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

ホームページ <http://www.portopia.co.jp>

- ポートピアホール 1,702 席（スクール形式 610 席）6 カ国同時通訳設備 コンサートホール対応
- 宴会場 36 室 屋外・屋内チャペル 神式場 ■ ゲストサービスサロン
- 客室 755 室 全室インターネット無料接続 ■ エグゼクティブフロア「オーバルクラブ」ブロードバンド対応
- レストラン&バー 全 12 店 ■ 屋内・屋外プール テニスコート ジム サウナ
- エステティックサロン ショッピングアーケード ■ 駐車場 450 台
- 「三宮と「新神戸」とホテルを結ぶシャトルバス（無料）20 分に 1 本運行中

## ホテルの歴史

ポートピアホテルは2006年(平成18年)3月9日おかげさまをもちまして開業25年を迎えます。ホテルはその街にとって迎賓館、街のイメージを形づくる要素のひとつです。昭和47年ごろ神戸には200室規模のホテルが2件しかありませんでした。国際都市神戸にふさわしい本格的な都市ホテルを建設する必要があることはわかっていたのですが、黒字計上できる仕組みなしでは話は進みませんでした。創業者がアメリカに赴きコンベンションの存在を知り検討を始めました。ホテルだけを建設してもお客様は年中利用するわけではない。コンベンションを通じて会議場、展示会場、ホテルの利用が促進される。これはその地域に訪れた方が観光・ショッピングなどを通じて地域の経済活動を推進することになります。そこで会議場・展示場の建設・運営は神戸市がホテルは民間が行うよう話が進んでいきました。1981年(昭和56年)3月9日神戸ポートピアホテルは地上32階(高さ112M)地下2階、客室550室(1,100人収容)、レストラン・バー10カ所、宴会場16室(計2,700㎡・3,000人収容)の規模で開業し、同時に日本で初めてのこの試みをPRするために博覧会「ポートピア'81」が開催されました。その後1988年(昭和63年)には南館オープン(地上16階地下1階、客室228室、レストラン・バー5ヶ所、宴会場15室)、1997年(平成9年)には国際会議場ポートピアホール(地上5階地下1階・1702人収容)がオープンいたしました。さらにエグゼクティブフロア「オーバルクラブ」、デリカテス「アラメゾン」、ダイニングカフェ「SOCO」のオープン等常に新しい提案をし、地域の皆様にとって誇れるホスピタリティーいっぱいのホテルを目指しております。

## ■住所

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6中目10番1

TEL 078-302-1111

# 神戸ーシアトル姉妹都市協会

## Kobe-Seattle Sister City Association

(代表者) 八木 絵里  
(連絡先) 〒655-0007 神戸市垂水区多聞台1丁目10-20-507  
Tel/Fax (078)785-8205  
(ホームページ) <http://kssca.net>

### 【活動内容】

当協会は草の根交流のサポート、推進を行うための団体として、以下のような活動を中心に行ってまいります。

①会報誌の発行

②交流会の実施

- ・姉妹都市協会会員やシアトルから来神している人を対象とした交流会やイベント等の開催

③国際交流事業の実施・サポート

- ・神戸市の事業への協力や各種交流プログラムのサポート
- ・シアトルー神戸姉妹都市協会（シアトル側協会）との連携・交流（姉妹都市提携50周年に向けた活動を予定）

※ この他にも今後様々な活動を行っていく予定です。

### 【年会費】

学生会員 1,000円（18歳以下）

個人会員 3,000円/1口 法人会員 20,000円/1口

当協会の活動は、設立主旨に賛同された会員の方々のご協力、ご支援により運営してまいります。

上記の他にも、当協会の活動内容にご賛同いただける方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

当協会会員にお申し込みいただける方は、以下の様式に必要事項を記入のうえ、事務局代表八木宛に Fax をお送りください。後日、会費の振込先をご連絡させていただきます。

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

Tel/Fax \_\_\_\_\_

E-Mail \_\_\_\_\_

(後 記)

今回は、皆様に朗報、悲報をご報告する内容のニューズレターとなった。人と出会い、絆を深めることは、喜び、悲しみを共有していく数も増えることだと感じます。喜びは多ければ多いほど、悲しみは少ないに越したことはないのだが・・・。

人の命、人の人生には限りがある。「今自分が何をするか、何ができるか。」が何よりも大切だとドロシーさんから教えられた。日々、感謝して精一杯生きていこう。

(八木 絵里)

(神戸ーシアトル姉妹都市協会事務局)

代 表：八木 絵里

神木 与治、牧田 映子、和田千佳